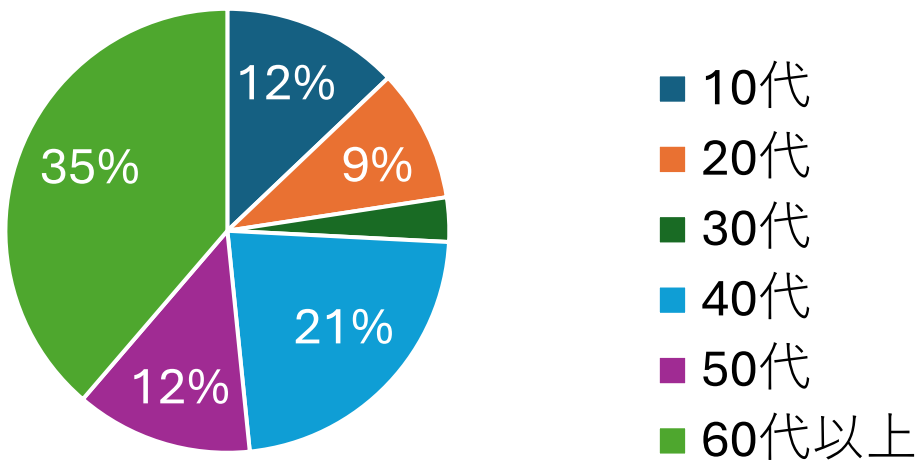
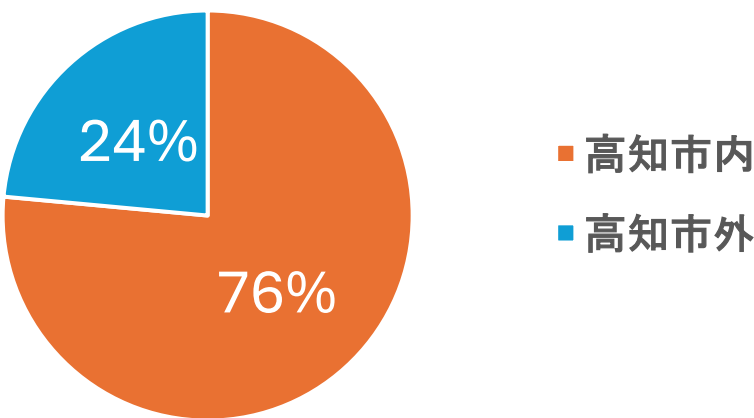


# 【第1部】 看護の専門性を活かした地域防災教育

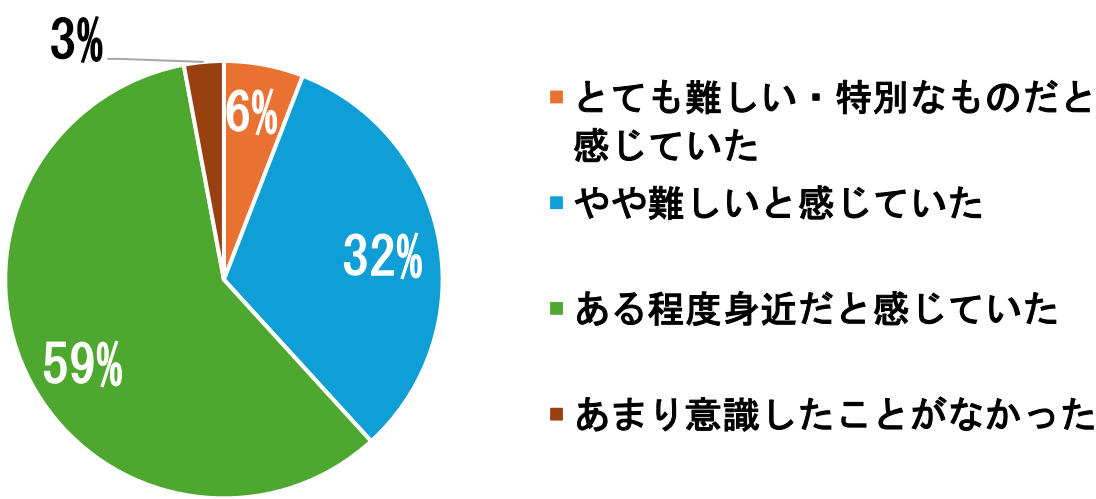
1. あなたの年代を教えてください。



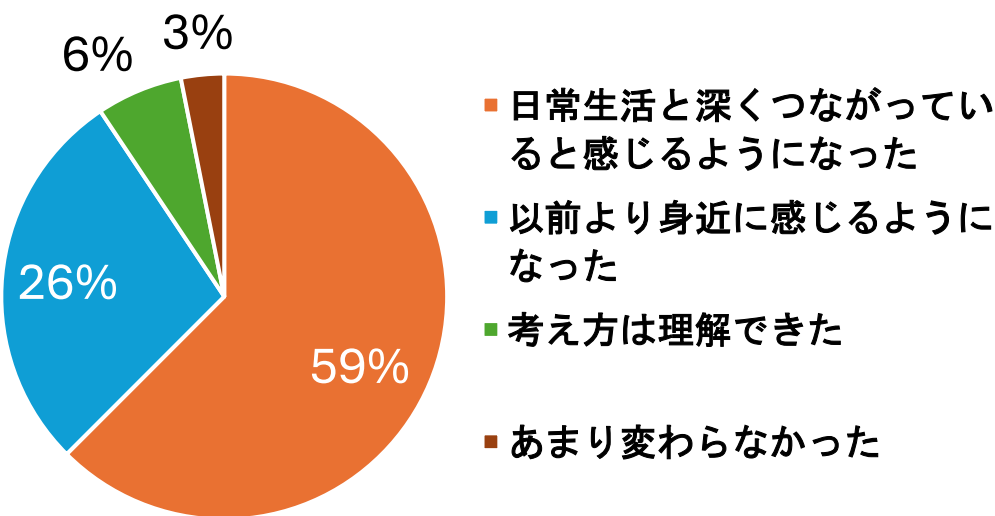
2. お住まいの地域を教えてください。



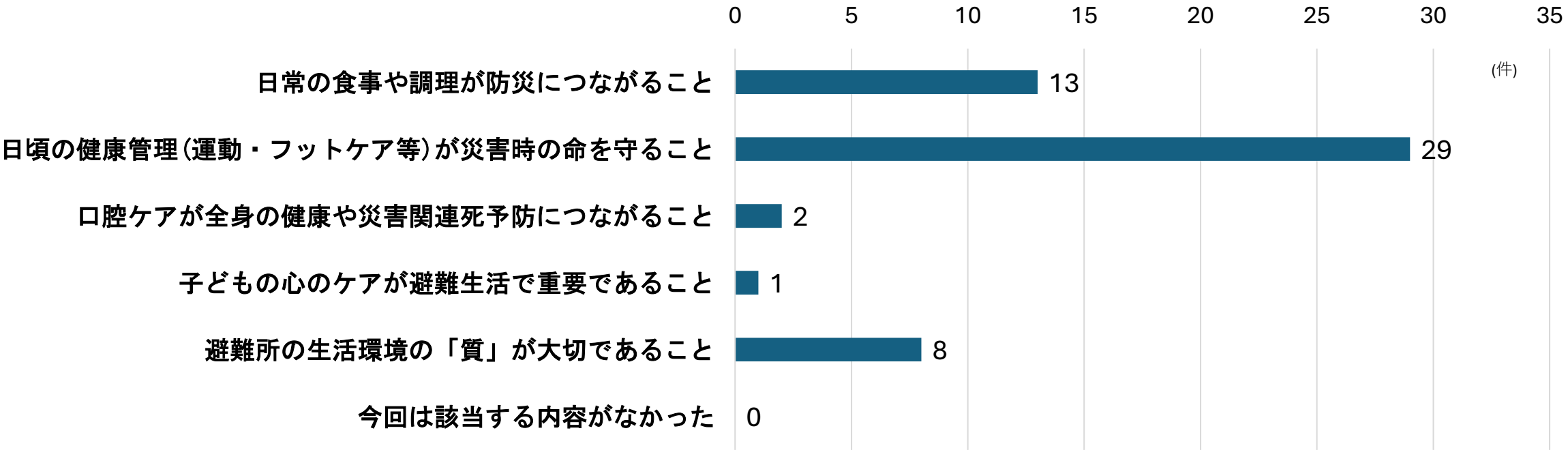
3. 講座を受講する前、「防災」に対してどのような印象を持っていたか？



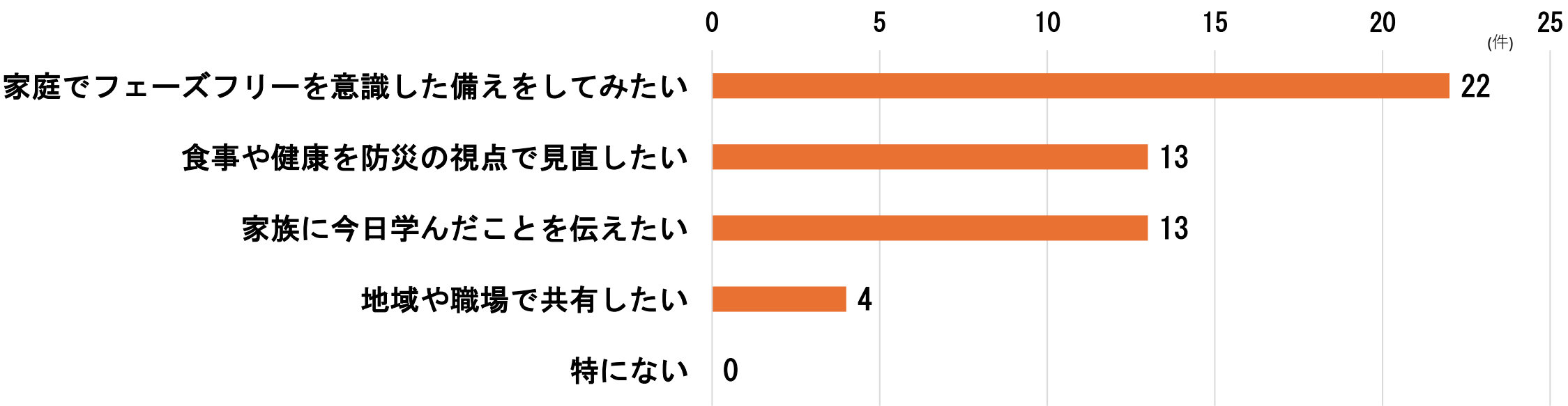
4. 講座を受講して、「防災」に対する考え方は変わりましたか。



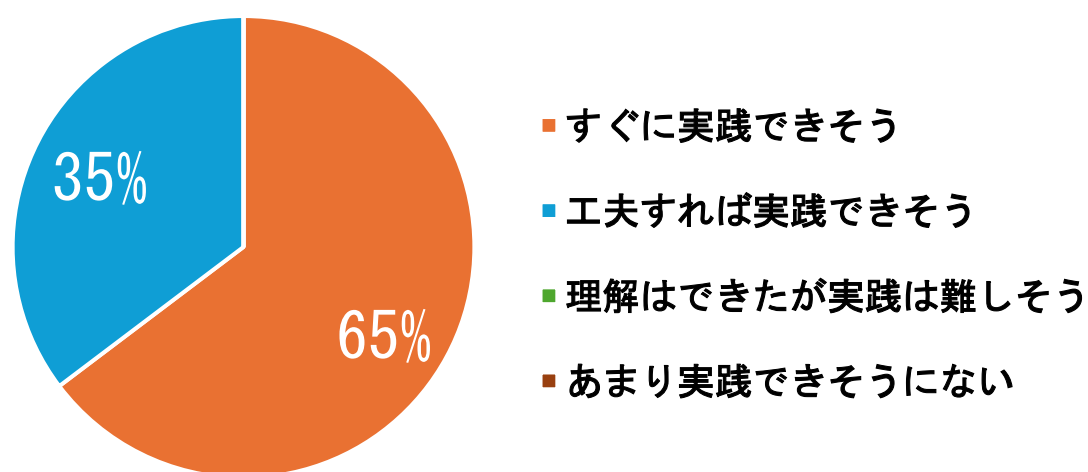
6. 今回参加された講座内容について、理解が深まったと感じるものを選んでください（複数選択可）。



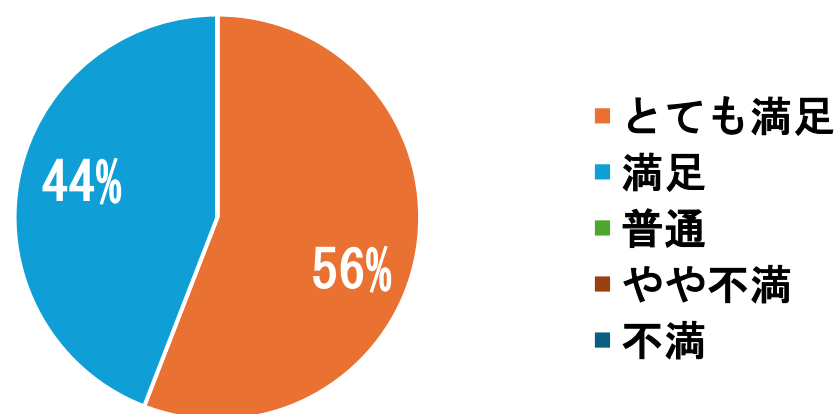
7. 講座を受けて、今後やってみたいと思うことはありますか（複数選択可）



5. 講座で学んだ内容は、日常生活の中で実践できそうだと感じましたか



8. 本日の公開講座の満足度を教えてください



9. 印象に残った内容や、今後の生活に活かしたいと思ったことがあれば教えてください。

- 逃げれるように玄関を掃除したいと思いました。
- 長時間座ることがあるので、運動しようと思った。
- 全員で避難できるように今日のことを家に帰って話したいと思った。
- 普段の習慣が災害時にも大切だとわかりました。今日の講演を聞いて、まず運動を日常的に継続して行いたいと思いました。他にも耐震ベッド、シェルターの購入、家を直す(耐震)、車中泊をする、水分をもっと取る等、今後やっていきたいと思うことが沢山ありました。実践できるように頑張ります。
- まずは、津波を避けて、家具に押しつぶされない家の見直しをしたい。3つのポイントの内、少し足を動かすも必要だと思った。
- 足の運動。保険の見直し。
- 足の運動、意識して運動したいと思います。 など

10. 今後、参加してみたい防災に関するテーマがあれば教えてください。

- 学ぶ時は意識が高まりますが、次第にうすれていくので定期的に学ぶ機会があると良いと思います。
- 車中泊のことをもっと知りたいです。
- 「フェーズフリー」という言葉をはじめて聞いて興味を持ちました。これからも意識して防災のことを考えようと思っています。
- 持ち出す品物について(リュックサックに入れておきたいもの)
- 避難所の運営など、地域住民の一人として参加できることについて学びたい。
- 災害時に起きる可能性のあるケガや病気に対する内容や対応方法など。
- 実際に購入できる非常食を食べたい。
- 家でできる対策でどのようなことがあるか知りたい。 など

## 第1部 アンケート分析結果

受講後に「防災は日常生活と深くつながっていると感じるようになった」と回答した参加者は59%であった。また、日頃の生活習慣を見直そうとする回答が多く、平時の行動が災害時のリスク軽減につながるというフェーズフリーの考え方が参加者に浸透したことがうかがえた。災害時の健康管理や日常生活における備えを通じて、防災を「特別な対策」ではなく「日常の延長」として捉える理解が促進された。